

ほたる号外



2007年 号外

発行:わたなべ美穂後援会

〒818-0125

太宰府市五条 2-11-15-103

Tel & Fax : 092-918-2503

ホームページ

<http://www.watanabemiho.com/>

後援会報「ほたる」は議会ごとに約 4000 部、15 回発行してきました。
今回の号外では、わたなべ議員が最初にお約束した 4 つの内容について検証してみます。皆様のご意見をいただければ幸いです。

- 後援会 -



お約束その 1 太宰府市の財政健全化

◆ 投資的経費の割合の改善 (22% から 20% に改善)

投資的経費 20% 太宰府市予算全体
(公共事業等の予算)

14 年度決算では公共事業などの予算 - 投資的経費 が予算全体の約 22% 近くを占めていました。これは、他の自治体の平均 17% と比較してもかなり高い数字です。17 年度決算では投資的経費は約 20% になっていますが、依然他の自治体より高い状態です。17 年度で佐野の区画整理事業の目処がついたこともあり、今後投資的経費の割合がどのように変化するのか注視していきます。補助金総額 11 億 9 千万円についても一つ一つ見直していく必要があると思っています。

< わたなべ美穂の目指すもの >

- 教育面を含める子育て支援の充実や税制面の優遇措置などによる若い世代の人口誘致
→ 税収増
- 国からの交付金を当てにした箱物行政からの脱却
- 財政健全化実現まで緊急性の低い公共事業一時凍結
- 団塊世代の大量退職に伴う効率的な行政機構改革と行政サービスの充実への政策提言
- 市民の理解を得るための積極的な情報公開と説明

- お約束その 2 - 福祉

- ◆ 障害者自立支援法に対する障害者団体の請願採択
- ◆ 保護者と協働で障害児の放課後事業「なかよしはうす」の設立と運営
- ◆ 障害者団体との連携による政策提言
- ◆ 高齢者団体との連携による清掃活動支援

「平和なくして福祉なし」と言われるように、私は平和が福祉政策発展の基本だと考えています。これまでの歴史を見るまでもなく、平和が脅かされるとき、高齢者や障害者に対する差別意識が高まってきます。近く介護保険法と一緒に障害者自立支援法施行によって、受益者負担と自

自治体主体に変わります。三つの障害が同じ扱いになるという点は評価されますが、自治体主体という名目で、国が福祉施策を放棄しているという感は拭えません。以前はどれだけサービスを受けても個人の収入に応じた支払いでしたが、障害者自立支援法では受けたサービス分の支払いをしなくてはならなくなりました。高齢者も障害者も状態が悪いほど多くのサービスを受けることになりませんが、状態が悪ければ収入は当然少なくなります。以前は国が行うことで国内均一だった施策が、例えば救済措置である各種減額制度は自治体が行わなければならなくなりました。その為すでに同じサービスを受けても自治体間で個人の負担額が違ってきます。



- お約束その3 - 子育て支援・教育

◆ いきいき情報センタービガ - ル - ム開放と親子の居場所づくりの政策提言

◆ 校舎の耐震化・義務教育予算拡充への政策提言

ビガ - ル - ムは未だ全面開放は実現できていません。本来は市内数ヶ所にこのような子どもと親の居場所が必要です。限られた予算の中で知恵を絞りながら今後も政策提言を行っていきます。次に、太宰府市の予算全体に占める義務教育予算の割合は他市と比較してかなり低い現状です。国から義務付けられている校舎の耐震化工事もわずか7%しか終わっていません。また、法改正により市町村で教師を雇用することが出来るようになりました。既に近隣市では非常勤講師を採用し、学校の現状に合わせて少人数指導を行っています。義務教育においてこのような自治体間格差が生じることは絶対に避けなければなりません。お隣の筑前町で起きた悲惨な事件を繰り返さない為にも、また、将来教育の社天満宮の街として教育で有名な自治体にする為にも、学校現場の意見を十分聞きながら、まずは義務教育予算の拡充を繰り返し提案し続けてまいります。

- お約束その4 - 報酬・政務調査費の情報公開

議員報酬

収 入	444,000円		支 給 額	318,000円	
引き落とし	所 得 税	60,000	主 な 支 出 (概 算)	選挙準備積立金	50,000
	議員共済掛金	57,200		慶弔費関係	20,000
	常任委員会費	3,000		インターネット維持費	5,000
	互助会費	4,000		電話・携帯	15,000
	広報委員会費	1,000		私的調査研究費	20,000
支 給 額	318,000			後援会助成金	30,000
				各種参加費	30,000
			差し引き額	148,000 (生活費)	

報酬については「ほたる」第1号で公開いたしました。政務調査費は、私の所属する「はばたきの会」で年度末ごとに会派報を6000部発行し、使途の内訳と視察内容についてのご報告を行っています。太宰府市の政務調査費の額は毎月2万5千円で、飲食代への使用を禁止しており、領収書の添付を義務付けています。情報公開条例によって、各会派の政務調査費は公開されます。